

令和7(2025)年度 諏訪実業高等学校 定時制「学校評価」表

学校教育目標			重点目標(中・長期的目標)	総合評価					
『誠実』『自発』 定時制の特色と少人数教育の特徴を活かし、生徒一人ひとりの個性を尊重しながら、地域社会で信頼される人間として自立し、 貢献できる人材を育成する。			①働きながら学ぶ・・・職業観の育成、基礎基本の徹底 ②仲間を大切に作る・・・いじめ・暴力の根絶 ③自ら考え、行動する・・・自主・自立						
			今年度の重点目標	1 定時制の特色と少人数教育の特徴を活かし、生徒一人ひとりの個性を尊重しながら、地域社会で信頼される人間として自立し、貢献できる人材を育成します。 2 相手を尊重し、自己を肯定できる、丸く豊かな心を育てます。					
			評価項目	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
			① アルバイトの奨励 (キャリア教育)						
			② 少人数学習による基礎基本の徹底、進路につながる資格取得 (学習指導)						
教育活動	学級経営	1学年	基本的な学習・生活習慣の定着。 互いに他者を認め合い個性を尊重する学級づくり。	毎日登校・出席し、規則正しい生活がおくれるようになったか。 クラスメイトとして互いに尊重しあえたか。					
		2学年	自ら学ぶ姿勢を身につける。欠席を少なくする。 コミュニケーション能力を身につける。	授業を自主的に受け、大切にできたか。欠席を少なくすることができたか。校内行事や友人関係に積極的であったか。					
		3学年	学習・校友会活動への積極的な取り組みと、自己の進路希望実現に向けた意識・学力の向上。	学習・校友会活動などに自ら進んで参加できたか。 自己の適性・興味に沿った進路を意識した学習活動ができたか。					
		4学年	最上級生としての自覚を持った行動をする。 卒業に向け、一人ひとりの希望進路の実現を図る。	学習・生活・校友会などで自覚を持った行動や活動ができたか。 日ごろの指導を通して、生徒と保護者に常に進路を意識させ、生徒・保護者が希望する進路を実現することができたか。					
	教 養	遠足 (3学年)	遠足で出向いた地域の文化や産業、歴史に触れ、豊かな感性を育てる。周囲との協調性を養う。	行事への参加を通じてその地域の産業の実情や文化、歴史の素晴らしさを再認識することができたか。 集団の一員としての行動がとれたか。					
		生活体験発表	自己の生活体験を振り返って発表したり、それを聴いたりすることで、自分の生き方について考える。	生活体験発表大会に発表者あるいは聴き手として積極的に参加し、各自が自分のことを深く考えることができたか。 校内大会をスムーズに運営できたか。					
		視聴覚図 書	芸術鑑賞を通じて、豊かな心を育む。 授業やその他諸活動を通じ、生徒が図書と親しみ楽しさや重要性についての意識を高める。	芸術鑑賞の企画・運営が適切で、生徒各々が題材について何かを考え、感じることができたか。またそれを表現できたか。 図書館の利用率が向上したか。また、日常生活の中においても読書をする生徒が増えたか。					
		人 権	自己と他者の人権を認識し、考え、学校生活や進路選択などにおいて人権尊重の精神をもとに思考・判断することができる人権感覚を養う。	学校生活や進路選択に際し、望ましい人権感覚のもとに思考・判断することができたか。また、日頃の教育諸活動から生徒が直面する人権的問題に関して、生徒の意識を高めることができたか。					

教育活動	校友会	運動委員会	生徒主体で全校運動の企画・運営・進行を行う。運動を通して、他者と積極的に関わり、コミュニケーションをとる。	生徒が主体的に全校運動の企画・運営・進行ができたか。運動を通して、他者と関わる事ができたか。					
		出版	校友会誌「科」の発刊。校内での出版を行なう。内容の充実を図る。	校友会誌原稿を意欲的に作成できたか。校内での出版に伴い、製本作業等を協力してできたか。					
		選挙管理	前期・後期の校友会役員選挙を確実に実施する。	選挙管理委員が協力して、公正・公平な選挙を実施することができたか。					
		定時制祭	生徒が主体的に、思い出に残る定時制祭を創り上げる。定時制祭を通じて社会性を育成すると共に、充実感・達成感を持てるようにする。	生徒同士、生徒と職員、職員同士での協力・連携がとれたか。全員参加で協力して、思い出に残るものにできたか。					
		クラブ	クラブ活動を通じて、他者と関わる力を身につける。種目ごとに、目標を設定し取り組む。	種目ごとに仲間と協力し、一丸となって目標に向かうことができたか。本校クラブ活動の規則を守り、活動に取り組むことができたか。					
	生徒指導	生活指導	いじめを含む問題行動の把握に努め、問題行動が生じた際には迅速に指導を行う。生徒の登下校の手段を把握し、常に交通安全に留意させる。	悩みや不満を抱えている生徒への対応を、担任と連携してできたか。問題行動の改善に努めることができたか。挨拶や言葉遣いなどに留意し、互いを尊重しあう人間関係を築けるよう指導できたか。					
		保健	生徒の状態や場面に応じた指導と対応で、心身の健康を目指す。	生徒の不安定な様子や小さなサインを見逃さなかったか。生徒とのコミュニケーションを大切にしながら指導できたか。健康意識の向上につながる指導・取り組みができたか。職員間で情報共有を行い、連携がとれたか。					
	進路指導	進路指導	進路指導を計画的に行い、進路に対する意識の向上および早期確立	各学年のニーズに応じた取り組みができたか。					
		キャリア教育	アルバイトの奨励。仕事や就職試験などに興味を持たせる。職業観を確立する。	進路ガイダンスなどを通して職業観を確立することができたか。就職試験などで個別の支援、対応ができたか。					
	特別支援		校内支援体制の充実。多くの生徒がよりよい学校生活を送れるように、支援や必要に応じた個別支援の実施。各機関やスクールカウンセラーの活用。	校内の支援体制の充実と、生徒一人ひとりの実態の把握ができたか。個別の支援や対応ができたか。					
学校運営	地域との連携	定時制教育振興会	定時制教育振興会の充実をめざして、振興会活動の活性化を図る。	会員同士の親交と生徒の支援を担う振興会に対する意識の向上を図ることができたか。					
		PTA同窓会	保護者と学校との架け橋の一翼を担うべく、環境作りに努める。	保護者・同窓生・地域のみなさまに、学校生活の様子を知ってもらうことができたか。					
	教務	総務	定時制の教育活動がスムーズに行われるための環境作り。全日制との協同。	先を見通した計画が提案できたか。HPや学校通信による情報提供がしっかりできたか。全日制との情報交換を密に行えたか。					
		防災	災害時、安全に避難できる体制づくりを目指し、防災に対する意識を高める。	春は地震・火災を想定した避難訓練において適切な行動ができたか。秋は防災教育を通じて災害発生時における適切な行動を学ぶことができたか。					
		清掃美化	清掃を通じて、校内美化の意識を高める。	一斉清掃に真剣に取り組むことができたか。教室や廊下等がきれいになっているか。					
		学習指導	「総合的な探究の時間」について、内容を確認させ積極的に学習するよう指導する。	少人数講座である利点を生かし、指導内容を工夫した授業になったか。「探究の時間」について充実した内容となったか。					
	給食								
			毎日パンを食べてもらう。牛乳を飲む生徒を増やす。給食を通して、食べ物の大切さや『食』について関心を持たせる。	パン、牛乳の余りを減らせたか。生徒の食生活の改善・向上の指導ができたか。今後の給食の在り方や充実について検討できたか。					